

# 真誠

学校だより  
No.11  
西東京市立  
田無小学校  
令和2年  
3月24日

平成三十一（令和元）年度の

教育活動に対するご理解とご協力、

ありがとうございました。

校長 小林 宏

平成三十一（令和元）年度も、本日、修了式を迎えました。新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業が続く中、二十五日ぶりに子供たちと会うことができ、教職員一同、喜びを新たにしました。この度の臨時休業期間中における各ご家庭での対応に、あらためまして深く感謝申し上げます。

明日は卒業式です。例年より規模を縮小しての実施となりますが、新しい世界へはばたく卒業生のために、全教職員が一丸となり、凜とした式を挙行できるよう全力を尽くします。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

さて、元号が改元された今年度、西東京市においても、平成三十一（令和元）年度から令和五年度までの五年間を中心に取り組むべき基本的な方向性と主な施策を示した「西東京市教育計画」が新たに策定されました。本計画は、西東京市のホームペ

ージでもお読みいただけますが、地域や保護者の皆様と共有するために概要を掲載します。

## ◎基本方針1

『子どもの「生きる力」の育成に向けて』  
次代を担う子どもたちが自らの人生を切り拓くために、主体的・対話的で深い学びを通して、確かな学力を育むとともに、豊かな心や健康・体力などの「生きる力」を育成していきます。

## ◎基本方針2

『子どもの「心の健康」の育成に向けて』  
子どもが「生きる力」を身に付け、持続可能な社会を創る一員として、学び続けられる大人になっていくためには、子どもの「心の健康」の育成が重要になってきます。様々な出来事に出会い、すぐに解決できない問題に直面しても、力強く生きていけるよう、「心の健康」の育成に向けた相談・支援体制を充実させます。

## ◎基本方針3

『持続可能な社会の創り手を育むための教育環境の充実に向けて』  
時代の変化に対応するための学習環境の整備や、学校における組織体制や教職員の働き方を見直すこと、学校経営改革の推進を図ります。さらに、学校を核としながら連携・協働し合う地域づくりを取り組むとともに、家庭教育への支援を充実させることにより、持続可能な社会の創り手を育むための教育環境の充実を図ります。

## ◎基本方針4

『学びを身近に感じ、「学び」を実践できる社会の実現に向けて』  
社会の変化に対応した学習機会の提供の充実を図ることにより、生涯にわたって学び、活躍できる環境の整備に取り組みます。これにより、地域コミュニティの維持・活性化や地域課題の解決に寄与する「学び」と「活動」の循環の形成を目指します。

本基本方針には、各々、具体的な方向性と施策も示されています。田無小学校も、本計画を踏まえて教育活動を展開してまいりました。今後さらに、教育活動を充実させていくためには、学校と家庭、地域社会が強い信頼関係に基づいて、子供たちに自らの人生を切り拓くための生きる力を育むとともに、誰もが生涯を通じて学び、活躍し、支え合うことができる地域社会を目指す必要があります。今年度、本校の教育活動に対して多大なるご理解とご協力、ご支援をいただきました。保護者・地域・関係機関の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願いいたします。

## 春休みの過ごし方について

本日、配布しました「春休みの生活」及び「保健だより」でお知らせさせていただきましたとおり、規則正しい生活を送るとともに、不要不急の外出を控えてください。また、手洗い、うがい、咳エチケット、室内の換気等、感染症予防の習慣を徹底するよう、ご家庭でもお声かけください。

## 令和二年度 始業式のお知らせ

○日時 四月六日（月）

登校八時十五分～二十分

※クラス替えがある新三年生と新五年生は、八時十五分に登校してください。

○場所 校庭

○持ち物 上履き・筆記用具（筆箱）・連絡帳・ランドセル

○下校 全学年（新二年生・新六年生）は九時三十分下校

★今後の新型コロナウイルス感染の状況によって、実施方法等を変更することもありますので、その際は学校配信一斉メール等にてお知らせいたします。

## 学校配信一斉メールについて

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う措置が取られ、学校とご家庭との連絡手段は、学校配信一斉メールが主だった手段となっております。それに伴い、例年学年末に行われている一斉メールのデータ消去と新年度のアドレス登録ですが、改めて学校からご連絡をさせていただきます。

学校より連絡があるまでは、クラス替えを行う学年もことから、学年ごとの配信または、学校全体の登録者への配信となりますのでご了承ください。

## 6年生 卒業おめでとう ～担任の先生から～

正しいと思うことを

一組担任 稲葉 真喜

道徳の教科書に、「お天道様が見てござる」という言葉がありました。誰も見ていなくても、その人の行動はお天道様（神様）が見ているよ、という言葉です。自分の行動に自信がもてないとき、「これはお天道様に恥じない行動か」と考えると自ずとどうするべきか分かると思います。卒業生の皆さん、正しいことを、自分の損得にとらわれずにできる人になってください。皆さんの明るい未来をお祈りいたします。

道

二組担任 石川 和明

これからそれぞれの道へ進んでいきます。新しい友達や新しい体験との出会いがあると思います。そこからたくさん学ぶ、「興味があること」、「好きなこと」を見つけてください。そして、自分の歩むべき道を必ず探してほしいと思います。努力を重ねて、自分自身の足で、その道を切り開いて自分の可能性をどんどん広げていってください。

言葉の大切さ

三組担任 中澤 仁生

好きな言葉がたくさんあります。「いまが大事」、詩人・書家の相田みつをさんの言葉です。「一途一心」は学年だよりの表題。あるドラマで使われた言葉です。身の回りには自分を奮い立たせる言葉、友達を大事に思う言葉、様々な言葉があります。普段何気なく「言葉」を使いますが、その一つ一つの言葉の大切さを考え、学ぶことができた一年間でした。卒業していく皆さん、豊かな「言葉」を大切にね。

自分らしくかがやく

わかば六組担任 渡邊 真南

皆さんと過ごした一年間は、本当にあつという間でした。たくさん学び、たくさん遊びましたね。たくさん驚き、たくさん喜び、時々怒り、そして何よりたくさん笑いました。皆さんは一人一人、「自分だけのががやき」をたくさんもっています。それはこれまで一生懸命歩んできた証でもあります。それらを胸に、自信をもって新しい世界へと進んでいってください。そして皆さんらしく、大きく輝いてください。

ご卒業おめでとうございます

わかば六組担任 呉 俊太

「当たり前のことを当たり前のようにやる。」言葉で言うのは簡単ですが、実際に行動に移すことはとても難しいと思っています。皆さんは常にこの言葉を意識して行動していました。皆さんの責任感の溢れる表情や行動は、下学年のお手本となりました。凡事徹底。これからも、当たり前のことを当たり前にやれる人であってください。ご卒業おめでとうございます。

「小さな勇気」

わかば七組担任 高木 博幸

四月に皆さんに出会って一年、皆さんの思い出がよみがえります。中でも音楽会では表情豊かに歌う皆さんの歌声が印象に残っています。

「小さな勇気」の歌詞の中に「少しの優しさが・少しの我慢が 人を笑顔にかえられる」という一節がありました。これからも皆さん一人一人の小さな勇気を大切にして、周りの人に笑顔を届けてほしいと思います。

クラブ発表・見学

クラブ担当

大内 亮子

四、五、六年生は、クラブ活動を行っています。学年や学級の所属を離れ、同じ興味や関心をもった児童でクラブを構成し、活動しています。

異年齢集団の交流を深め、集団の一員として協力してよりよいクラブづくりに参加しようとする自主的で実践的な態度を育てることを目標としています。

一月には、三年生が来年度のクラブ選びの参考に、すべてのクラブを見学して回りました。

また、活動の成果の発表やクラブ紹介の場を設けています。

活動の中心となってくれた六年生に感謝するとともに、三、四、五年生は来年度のクラブ選びにわくわくする時期でもあるのです。